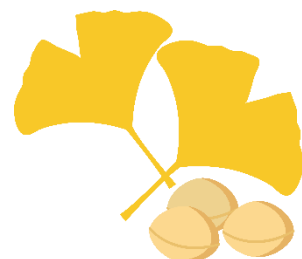


十念寺だより

令和六年 冬

檀信徒各位

「生きる」 谷川俊太郎 詩



生きているということ いま生きているということ
それはのどがかわくということ 木漏れ日がまぶしいということ
ふっと或るメロディを思い出すということ くしゃみ
すること あなたと手をつなぐこと
生きているということ いま生きているということ
それはミニスカート それはプラネタリウム それはヨハン
シュトラウス それはピカソ それはアルプス すべての美
しいものに出会うということ そしてかくされた悪を注意深
くこばむこと
生きているということ いま生きているということ
泣けるということ 笑えるということ 怒れるということ
自由ということ
生きているということ いま生きているということ
いま遠くで犬が吠えるということ いま地球が廻っている
ということ いまどこかで産声があがるということ いまどこ
かで兵士が傷つくということ いまぶらんこがゆれていると
いうこと
生きているということ いま生きているということ
鳥ははばたくということ 海はとどろくということ かたつ
むりははうということ 人は愛するということ あなたの手の
ぬくみ いのちということ

日々、生きるを感じながら過ごしたいと思えます。

年末年始の予定をご案内します。どうかよいお年を。

成道会・永代供養合祀墓回向（お寺の日）

十二月八日（日）午後二時より

成道会・じょうどうえ（お釈迦様がおさとりをひらかれた日）のおつとめを本堂でした後、永代供養合祀墓のご回向をいたします。

永代供養合祀墓に納骨された方もどうぞお参りください。

除夜の鐘

十二月三十一日（火）午後十一時三十分より

どなたでも鐘をつきに来ていただけます。

新年初寄り（お寺の日）

一月二十四日（金）※今年は正午十二時半より

昼食をご用意しています。本堂でおつとめの後皆さんでいただきます。

涅槃会（お寺の日）

二月二十四日（月）午後二時より

涅槃会・ねはんえ（お釈迦さまがお亡くなりになられた日）のおつとめを、お寺の日に合わせていたします。

修正会

一月一日・二日・三日

午前九時から午後三時の間、本堂へ入ってお参りしていただけます。お墓参りのお塔婆は本堂でお渡しします。正面から本堂へお入りください。

時間外の方は玄関の方へお越しください。

修正会・しゅしゅうえ（仏前において前年を改め、新年を願う）どうぞご本尊様、ご先祖様に初参りください。